

「教員養成講座」に向かう姿勢

後期の「教員養成講座」が11月7日からを始まりました。11月後半から12月にかけて大学祭やその他の行事で休講も多く、受講者の皆さんには迷惑をおかけしました。

現在の一般教養・教職教養について出席率をみると、一般が約78%、学生が約85%となっています。「継続は力なり」です。辛いときも苦しいときもあるでしょうが、是非休まずに出席してほしいと思います。

先日、6時過ぎに教室へ行ってみると、集中して勉強している人が何名かいました。このような隙間時間に勉強することはとても効果があると思います。この積み重ねがものをいいます。

これからも時間や場所をうまく活用して頑張ってください。

◎次の問題(一般教養・英語)にチャレンジしてみよう。(東京アカデミー教採参考書、2021年度版より)

問. 次の掲示用語の意味を、それぞれア～ウから選べ。

- (1) No Entry ア.侵入禁止 イ.棄権 ウ.一方通行
 (2) Occupied ア.専用通路 イ.使用中 ウ.満席
 (3) Out of Order ア.故障中 イ.順不同 ウ.売り切れ
 (4) Post No Bills ア.チップ不要 イ.はり紙禁止 ウ.ゴミ捨て禁止
 (5) Off Limits ア.限界点 イ.立ち入り禁止 ウ.入場制限有り
 (正解は末尾にあります。)



写真 臨任教諭夏期研修

模擬試験の大切さについて

教員養成講座は無料ですが、模擬試験は必修です。(但し、受験料は個人負担となります。)

12月7日の受験者は70名中38名でした。孫子の兵法(ひょうほう)というのがあります。孫子は紀元前500年ほどの人です。これまで戦いの勝敗は運によるものが大きいとされていましたが、孫子は人為(人間の仕業)によると主張しました。孫子の言葉を引用します。

「彼を知り、己を知れば百戦^{あや}殆うからず」これは、「敵を知って己を知れば百回戦っても敗れることはない」という意味です。敵を採用試験、己を知るを模擬試験と置き換えてみるとよいでしょう。自分の力(できているところとできていないところ)を知るとその対策ができます。しかも、模擬試験は時間帯・問題の量・難易度がほぼ本番に近い形で行われます。皆さんの勉強は夜にやることが多いでしょうが、実際の試験は昼間に行われることからして、模擬試験を受けることは本番に慣れるという意味でも大変有意義です。

3月までの模試の予定は下記の通りです。

◆ 今後の採用試験全国模擬試験

実施日：第2回：2020年2月15日(土)(マークプレ模試)

第3回：2020年3月14日(土)(全国模試)

場 所：北部生涯学習推進センター

時 間：9時00分～13時10分

(正解 (1) ア (2) イ (3) ア (4) イ (5) イ)